

授業概要

経営財務論Ⅱでは、株式会社の資金調達を核に、株式会社の財務について講義する（エクイティ・ファイナンス分野）。最初に株式会社のしくみと歴史を学び、「株式会社は人類の大発明」といわれる理由を考えていく。次に「株式」という有価証券を勉強し、株式会社の設立、株主の権利、株式上場、会計（財務諸表）における株式、株式発行市場や株式流通市場、配当政策など様々な視点から株式を学び、理解していく。ファイナンスを理解するためには、春期開講の「経営財務論Ⅰ」（⇒数字、金利、銀行借入）、春期開講の「証券市場論」の講義を履修済、もしくは今後受講することが好ましい。

授業計画

第 1 回	経営財務論Ⅱのオリエンテーション：学習目的、学習の仕方、意義、成績評価など
第 2 回	簿記、財務会計、税務会計の復習①
第 3 回	簿記、財務家計、税務会計の復習②、管理会計のポイント
第 4 回	株式会社の登場（大航海時代、胡椒貿易、オランダ東インド会社、アムステルダム証券取引所）
第 5 回	株式とは。証券としてのストック、自己資本でのエクイティ
第 6 回	証券市場のしくみと役割（投資家、株式会社、証券会社、証券取引所）。上場企業と非上場企業
第 7 回	株式会社と株主の権利、責任。所有と経営の分離。債権者との関係、リスクとリターン
第 8 回	株式発行による資金調達（株式発行、配当、償還義務・期日なし）
第 9 回	社債発行による資金調達（CP、社債発行、利払い、償還義務・期日あり）
第 10 回	銀行借入による資金調達（借入、利払い、償還義務・期日あり）
第 11 回	株式会社の財務（決算）と株主総会、配当政策（納税、配当、役員賞与、利益繰越金）
第 12 回	株式会社のコーポレートガバナンス、経営支配権、スタークホルダーとの関係、株主資本主義
第 13 回	株式会社の資本金、準備金、剰余金制度
第 14 回	株主の期待 WACC、ROE、ROA
第 15 回	総まとめ（実際の上場企業の決算報告書を読んでもみる）
第 16 回	期末筆記試験

到達目標

- ①株式会社のしくみ（特に株主）に対する知識を理解、修得できる。
- ②株式会社の資金調達（株式、社債、銀行借入）を理解できる。
- ③株式の発行市場、流通市場、証券会社、証券取引所を理解できる。
- ④株主総会、配当政策、コーポレートガバナンスなど、株式会社の財務に関連する事項を理解できる。

履修上の注意

- ・講義内容を理解し、毎回しっかりと復習すること。不明な点は遠慮せずに質問すること。
- 春期の「経営財務論Ⅰ」を履修していることが望ましい。春期開講の「証券市場論」を受講済もしくは今後受講することが望ましい。
- ・授業の進捗状況、受講生の理解度、関心度に応じてシラバスの授業計画は変更する場合があります。

予習・復習

- ・講義予定の教科書の該当箇所を事前の一読しておくことと共に、各回の授業終了後に配布したレジュメと教科書の該当部分で十二分に復習してください。授業後は配布資料等を復習し、分からないところは次の授業で質問してください。

評価方法

期末試験 80%、レポート 20%を予定しています。詳細は授業で説明します。

テキスト

- ・講義では資料を配布します。
- ・参考書は講義内で案内します。